

1. 学校種（高校・私立） 教科（公民（倫理））

2. 実習前にどんな目標を立てて臨んだか

私は3つの目標を立てました。①笑顔、②3日でHRクラスの生徒の名前を覚えること、③元気良くあいさつすること、以上の3つです。この目標に対して、私は全て達成することができたと思います。②に掲げた目標は、実習先の都合もあり、3日という訳には行きませんでした。①の笑顔というのは、教壇に立った時だけでなく、常に務めることができました。いつも笑顔で生徒や先生とコミュニケーションを取ることにより、和やかな雰囲気作りができたと思います。実習を終える時に生徒に書いてもらったコメントシートにも多数の感想を書いてもらっていたことより、そのように実感しました。

3. 授業について

①教材研究、準備（指導案、板書計画、教具など）について

教科は公民、分野は倫理を担当しました。私が習ったことのない範囲でした。教科書や指導範囲が知らされたのは、実習の1ヶ月前でした。指導案や板書計画については、実習前にできる範囲内で完成させていました。模擬授業を通して、教科担当の先生から指導を頂きました。指導を頂き、学んだことは、「オリジナル」を作ることでした。教科書の重要語句や、キーワードを教えることではない。背景を考えて、つながっている共通点は何かということ。また、伝える順番。他分野との関連を伝えること。先生としての役割を果たすために、何が必要なかということをとっても深く考えることができました。

教科の担当クラスは全6クラスでした。生徒が違えば、授業の雰囲気も全て異なりました。第1回目の授業では様子を見るために、見学をしました。第2回目の授業を行いました。見学を参考にして伝える「順番」について工夫しました。資料集で図示するタイミングや、質問の問いかけも少しずつ工夫することにより、生徒の反応が見られて良かったです。

②授業の設計と実際（運営、目的・内容・方法、視点、雰囲気づくり等）

私は「イスラム教」についての授業を行いました。前後の授業とのつながりを大切に、伝える方法について大切にしました。前には「キリスト教」、後には「仏教」がありました。今回の授業での、位置付けを明確にすると共に、生徒の興味・関心をひく為の質問を用意しました。具体的には、答えが決まっていない質問（オープンクエッション）や、答えが決まっている質問（クローズドクエッション）を用いました。前回のノートに書いている語句を先生との打ち合わせで確認し、用いました。答えられる問いかけがあるということから、積極的に発言してくれる生徒もいました。

しかし、予想外のことも多々ありました。指名した生徒が寝ていて、起こしても起きてくれなかったことや、発言はしているのに、声の大きさが小さすぎて、教室中に聞こえていなかったり……です。生徒の気持ちを傷つけてしまわないよう、サポートしながら行い

ました。

#### 4. 生徒との関わりについて

##### ①クラス活動、朝・昼（休み）活動、清掃活動、進路相談、道徳・人権教育など

クラス活動には、たくさん参加できたと思います。特に毎日行う朝終礼では、HR 事項を伝えることが上手くできたと思います。伝言内容は口頭で伝えるだけではなく、キーワードや重要事項は文字にして残しておくことを心がけました。お昼休みには、積極的に生徒に話しかけに行き生徒と関わる時間を大切にしました。進路相談においては、自らの将来について明確な目標を持っている生徒が少ないように感じました。ですので、まずは目標を見つけて欲しいと思い、色々な話をしました。何か一つでも良いと思います。「大学で何かしたい。」「学びたい。」誰かに決められて進むのではなく、主体的になり、夢を掴んで欲しいということをお伝えしました。

##### ②部活動、放課後指導、生徒会活動、図書館活動、学校行事（宿泊学習、体育祭など）

教室の清掃が終わった後に教室に残っていた生徒に声をかけて、コミュニケーションを取りました。英語検定の試験勉強を熱心に行っていた生徒、クラスの子同士で話している子がいました。私自身が過ごしてきた学生時代と異なるものもありましたが、一つ一つの過ぎていく時間を大切に過ごして欲しいと感じました。

また、部活動では、私が所属していた「書道部」への見学に行きました。顧問の先生ともお話ししました。私たち、女子校の時代から変わったもの、変わらないものをお聞きしました。昔とは違う、実習生として何う話には新鮮味がありました。また、部員の生徒とも話ができて嬉しかったです。

#### 5. 教職員との関わりについて

##### ①指導教員との関係

非常に良好であったと思います。教材研究においては、妥協することなく突き詰めることができました。授業を更に良くする為のアドバイスもたくさん頂きました。私自身も不安に思ったことや疑問に感じたことはすぐに確認を取るようになりました。

また、私が伝えたいと目標にしていることを叶えるために、先生からのフィードバックを大切にしました。担当した、各クラスの雰囲気合った“生きた授業”をするために、全ての授業で方法を変えました。同じ授業は一つもなく、生徒の反応に応じた授業ができたと思います。

##### ②他の教職員との関係（校長・教頭先生、教務・学年主任、事務職員など）

HR 担任の先生、教科担当の先生の他は、学年主任の先生と関わるがありました。私が学生時代に所属していた顧問の先生ということもあったので、お話しする機会がありました。また、授業見学をさせて頂いた先生との関わりは深かったです。授業見学をさせて頂いた際には、先生が伝えたいとしている「目標・目的」についてお聞きすることができました。

自ら積極的に他の先生にお聞きすることにより、指導することの意欲が更に高まりました。

6. 今後の課題・展望（目標は達成されたか、これから自分は何をすべきか等）

「生徒との関わり」。やはり、一番大きな課題であると思いました。仲良くなり過ぎてもいけませんし、突き離し過ぎることも良くないと思います。他クラスの生徒と実習生の仲を見ていて、正直、私と比較した時には雲泥の差があるところもありました。私の HR 担当のクラスでは、なかなか受け入れられていないと感じる場面が何度もありましたが、他では楽しそうに話している実習生もいる。理解できない自分が悪いのかと自問自答を繰り返したり、先生や先輩に相談した日々もありました。何度も悩む日がありましたが、生徒の前では一切出さないようにしました。

実習最終日には、生徒にコメントシートに感想を書いてもらいました。「顔には出ていなかったけど、先生が担当に来てくれて、良かった・嬉しかった」というコメントを多くもらいました。私は目に見えるものが全てではないのだと気付きました。たった 2 週間という実習では、理解することは難しいと思うのです。担任の先生方は、一人一人の生徒に向き合い、1 年、2 年、3 年と長く付き合っているのだと思うと素晴らしいなと思いました。